

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」

【 施策名：（１）工事コストの低減 １）工事の計画・設計等の見直し ④技術開発の推進 】

残存型枠を採用し、コスト縮減を図り、工期を短縮

概要：

残存型枠を採用することで、型枠廃材等の建設廃材の発生を減らし、また、型枠脱型作業及び足場設置作業を省くことで、コストの縮減及び工期の短縮を図る。

効果

- ① 型枠脱型作業及び足場設置作業が省けるので省力化となる。
- ② 型枠廃材等の建設副産物の発生を減らせる。
■型枠工事費を20百万円から14百万円に縮減。
(縮減額5百万円、縮減率 約2%)



型枠組立状況